

■ マネジメント報告

情報開示(ディスクロージャー)

■ 考え方・基本姿勢

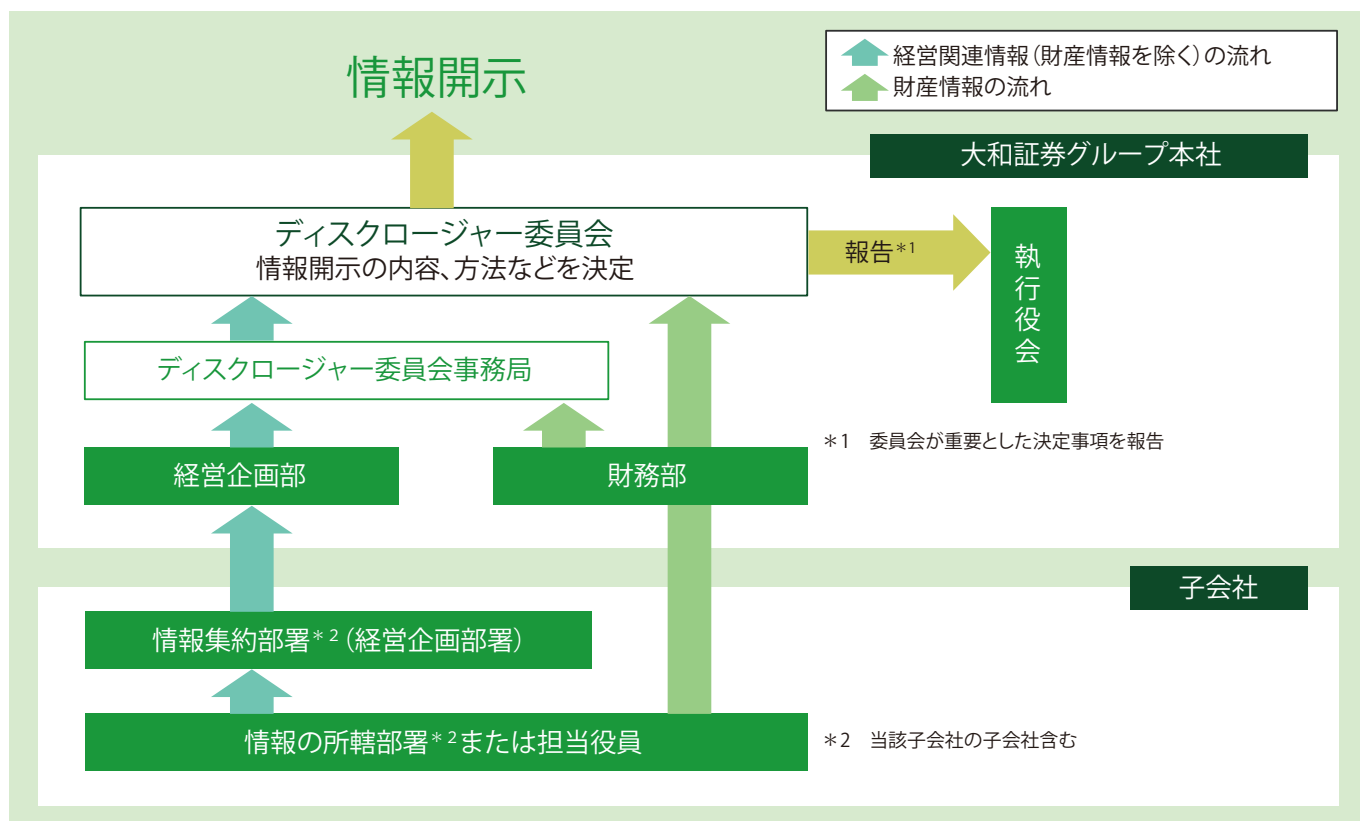
大和証券グループは、「ディスクロージャー・ポリシー(情報開示方針)」を定め、適時・適正かつ公平で正確な情報開示に努めています。当社グループは、証券業に携わる企業として、他の上場企業の見本となるような情報開示を目指し、財務情報に加え、財務的な数値に短期的には表われない社会的・環境的側面の非財務情報についての開示も強化していきます。

ディスクロージャー・ポリシー

- 当社は、株主・投資家、地域社会を始めとするあらゆるステークホルダーの当社に対する理解を促進し、その適正な評価のために、当グループに関する重要な情報(財務的・社会的・環境的側面の情報を含む。)の公正かつ適時・適切な開示を行います。
- 当社は、金融商品取引法、その他の法令及び当社の有価証券を上場している金融商品取引所の規則を遵守します。
- 当社は、内容的にも時間的にも公平な開示に努めます。
- 当社は、説明会、電話会議、インターネット、各種印刷物を始めとするさまざまな情報伝達手段を活用し、より多くの投資家の皆様にわかりやすい開示を行うよう努めます。
- 当社は、情報開示にあたって、常に証券市場を担う立場にあることを意識し、他の株式上場企業の模範となるよう努めます。
- これらの精神を実現するために、当社はディスクロージャー規程を制定し、ディスクロージャー委員会の設置や当グループの情報開示の方法等を定めています。

■ 情報開示の体制

「ディスクロージャー・ポリシー」を実践するため、大和証券グループ本社において「ディスクロージャー規程」を制定しています。同規程に従い、情報開示に関する最終的な意思決定は、執行役会の分科会である「ディスクロージャー委員会」が担っています。各グループ会社においては、それぞれ「経営関連情報管理規程」を制定。社内ネットワーク上に「経営関連情報連絡表」を掲載し、必要な情報が容易に収集・開示できる体制をとるとともに、大和証券グループ本社への報告が確実に行われ、グループ全体としての統一した情報開示を実施するための体制を整えています。



IR情報の開示

大和証券グループでは公正で、わかりやすい情報開示に注力しています。機関投資家、個人投資家などの立場の違いによつての情報の格差がないように、さまざまなIRツールを活用し公正かつ適宜・適切、理解しやすい点を重視した情報発信に努めています。

また、IRサイトの見直しを定期的に行い、内容の充実や、利便性向上に努めています。

非財務情報の開示

すべてのステークホルダーの方々に、大和証券グループに対する理解の促進と、適正な評価をいただけるよう、非財務情報の開示にも注力しています。

2010年度は、引き続き財務的情報にあわせて当社グループが最重点戦略として掲げるアジアビジネスの強化についての説明を積極的に行いました。また、インパクト・インベストメント商品の社会的側面の影響、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍推進、社会貢献など日本のリーディングカンパニーとして手本となるような取組みの情報についても、アニュアルレポートをはじめ、ビジネスレポート等のディスクロージャー情報誌や、説明会等で積極的に情報を開示しています。

また、株主総会にご参加いただいた方全員に、CSR報告書を配布し当社グループの社会的責任に対する理解を深めていただきました。

アニュアルレポート

<http://www.daiwa-grp.jp/ir/annualreport/index.cfm>